

徳山薬剤師会だより

令和6年
7月
第19号

発行元：(一社)徳山薬剤師会 〒745-0822 周南市孝田町7-1 TEL.0834-39-1105 FAX.0834-39-1106

令和6年能登半島地震 災害支援活動

派遣期間：令和6年1月17日（水）～21日（日）

活動場所：石川県珠洲市

代々木薬局 山本 晃之

今回は、石川県薬剤師会・日本薬剤師会からの派遣要請を受け、山口県薬剤師会からの第一班として令和6年1月17～21日のスキームで、石川県珠洲市での支援活動を行いました。珠洲市は地震による建物の倒壊と合わせて、沿岸部では津波による被害もありました。ライフラインは電気が一部通っているものの、上下水道は完全に機能しておらず、被災者は厳しい環境下での避難生活を余儀なくされている状況でした。

当派遣期間の珠洲市での支援活動は大きく分けて次の3つです。

- ・災害処方箋の調剤
- ・環境アセスメントを含めた避難所の巡回支援
- ・新たな避難所開設支援および衛生環境維持のアドバイス

災害処方箋の調剤は、珠洲市健康増進センター内に設置された臨時調剤所とモバイルファーマシー（災害時対応医薬品供給車両）にて、限られた備蓄医薬品の中で医師の処方意図にできるだけ添えるよう、薬学的知識をもとに代替等も行いながら実施しました。避難所の巡回支援では、健康相談や医薬品・衛生材料の供給と合わせて、二酸化炭素測定器を活用して環境アセスメントを実施しました。新たな避難所開設支援では、避難者の居住スペース、支援物資の保管庫、本部の位置など、動線も含めたプライバシーに配慮したレイアウトと合わせて、環境衛生の維持向上に関するアドバイスを実施しました。

個人的には、今回で4箇所目の災害支援となりましたが、活動中も状況は刻々と変化しますので、その時その場所で必要な事項の優先度を随時見極めながら、多職種と連携のもと、薬剤師としてできることを臨機応変に行うことが大事であると改めて痛感しました。

珠洲市の医療体制は回復しつつありますが、本当の復興には相当な時間がかかると推察します。一日でも早い復興を心より祈念致します。



2024年3月「市民講演会」

市民講演会等企画委員会 松田泰子

徳山薬剤師会が主催するイベントの1つである市民講演会が、令和6年3月10日ホテルサンルート徳山にて4年ぶりに開催されました。今回は佐波歯科医院院長の佐波義明先生と、徳山中央病院歯科口腔外科主任部長の村木祐考先生を講師にお招きし、「市民の歯を守る～地域と病院の歯医者さん～」というテーマでご講演賜り、約100名の市民の皆さんにお越しいただきました。



前半の佐波先生のご講演では、歯ブラシの選び方・替え時・うがい方法など今日から実践できる歯磨き習慣を分かりやすくご講演下さりました。ご講演終了後市民の皆さんからの質問が止まらず、参列者の方々の意識の高さが伺え、ご講演後10分の休憩時間に今回講演で学んだことを実践されていたのか、トイレにて歯磨きをされている方がいらっしゃいました。これにはとても驚かされ、佐波先生のご講演の素晴らしさを実感しました。



後半の村木先生のご講演では、長年の経験を経て、実際に対応された処置が難しい親知らずの抜歯症例や、交通外傷によって抜けてしまった歯を再建することができた症例など、普段聞くことができない歯の治療についてご講演してくださいました。また、村木先生が実際に周南市と行った連携事業として2019年6月19日に制定された「周南市民を支える歯と口腔に関する条例」に関するご講演してください、村木先生の連携・繋がりを意識した行動力のすごさに驚かされました。



今回を再スタートとし、来年度からも継続的に市民のためになる、地域の医療を繋ぐ講演会を企画していきたいと思っております。この報告をお借りしてご講演を賜りました、佐波義明先生と村木祐考先生、お手伝い頂きましたボランティアの方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

山口県からのお知らせ

さまざまな機能を持つ薬局が増えています

山口県内に775軒ある薬局。そのなかで、機能を持った薬局として、平成28年10月にスタートした「健康サポート薬局」、令和3年8月から認定が始まった「地域連携薬局」及び「専門医療機関連携薬局」が増えてきています。

山口県では、これらの機能を持つ薬局を県ホームページ等で公開していますので、御活用ください。


健康サポート薬局



県内 44軒

かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能を有し、地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援する薬局


地域連携薬局



県内 31軒

在宅医療への対応や入退院などで療養環境が変わっても、他の医療提供施設との服薬情報の一元的・継続的な情報連携に対応できる薬局

専門医療機関連携薬局



県内 2軒

がん等の専門的な薬学管理が必要な利用者に対して、他の医療提供施設との密な連携を行いつつ、より高度な薬学管理や、高い専門性が求められる特殊な調剤に対応できる薬局

※軒数はいずれも令和6年3月末時点

山口県健康エキスパート薬剤師が健康を支援します

山口県では、県民の健康維持・増進への取り組みの支援及び受診が必要な県民を早期に医療につなげるため、薬学的な健康サポートにより総合的に県民の健康等ニーズに対応できる薬剤師の登録制度を創設しました。身近な薬局・薬剤師が、学術的な知識、経験などを活かした相談対応、県民が自ら行う健康管理への助言、受診勧奨などの総合的な支援を行います。

令和6年5月23日現在、**291人**の健康エキスパート薬剤師が活躍中です。

山口県健康エキスパート薬剤師の一覧表は県ホームページで公開していますので、お近くの健康エキスパート薬剤師や、興味のある健康サポートを行う健康エキスパート薬剤師を見つけて相談してください。



山口県健康エキスパート薬剤師が 県民の健康を支援します

おくすりの健康や介護に関する相談はもちろん 相談も是非どうぞ!!

山口県健康エキスパート薬剤師 4つの約束

- ① 県民の健康維持・増進のために健康レポートの取組を行います
- ② 安心・安全な薬の使用のための支援を行います
- ③ 医療機関、介護施設、他の薬局などと連携します
- ④ 休日・夜間対応及び在宅医療対応に努めます

くすり健康介護 ご相談ください

山口県健康エキスパート薬剤師 山口県

このノボリのある薬局等に健康エキスパート薬剤師が在籍しています。

山口県 一般社団法人山口県薬剤師会

爆弾テロの未然防止にご協力を！

爆発物の原料となり得る化学物質は、薬局等で入手が可能な状況にあり、日本でも市販の化学物質等から爆発物を製造する事件が発生しています。

県警察では、爆発物の原料を販売、取り扱う事業者や学校等と連携して、テロリスト等に爆発物の原料となり得る化学物質を渡さない対策を推進しています。

爆発物の原料となり得る化学物質（11品目）・花火

硫酸 	塩酸 	硝酸 	過酸化水素 	塩素酸カリウム 	塩素酸ナトリウム 
尿素 	硝酸カリウム 	硝酸アンモニウム 	アセトン 	ヘキサミン 	花火 

近年の手製の爆発物等使用事件の内容

令和3年5月、手製爆発物を使用して、車両を損壊させた事件。火薬は自ら材料を配合し、パイプ爆発物を製造。現場からは**黒色火薬**の成分を検出

令和4年7月、安倍元総理大臣に対する銃撃事件。被疑者は「火薬類の材料はインターネットで購入した」、「農作物の肥料や土を混ぜて**黒色火薬**を作った」と供述

令和4年8月、米国大使館前で警戒警備中の警察官の職務質問により、被疑者が**火薬**を所持していることが判明。被疑者は、「ネットで火薬の作り方を学び、米国大使館に投げ入れるために来た」と供述

令和4年10月、別事件で被疑者の自宅を捜索中、自宅内から**黒色火薬**等を発見した事件。被疑者は、「火薬を自分で作った」、「通販サイトやホームセンターで購入した」と供述

あなたの周りでこんなことはありますか？



- 化学物質や花火を大量又は頻繁に購入（準備）
- 建物の周辺の草木が枯れている、化学物質、火薬等の異臭（製造）
- 多数の人が集まる施設等で防犯カメラや警備員の位置を確認（下見）

少しでも不審に感じたら警察へ連絡を！ 緊急時は110番！



周南警察署

☎ 0834 - 21 - 0110

「熱中症特別警戒アラート」の運用が始まりました！

熱中症警戒アラートは、危険な暑さが予想される場合に、暑さへの「気付き」を促し熱中症への警戒を呼びかけるものです。令和6年4月からは、広域的に過去に例のない危険な暑さが予測され人の健康に係る重大な被害が生じるおそれがある場合に発信される「熱中症特別警戒アラート」が新たに創設されました。熱中症特別警戒アラートが発表されたときは外出を控え、熱中症予防行動をとり、家族や周囲の人々への見守りや声かけも積極的に行いましょう。



環境省と気象庁が提供している「熱中症警戒アラート等メール配信サービス」をご活用ください。



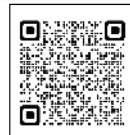
受けましょう がん検診

がんは誰でもかかる可能性のある、身近な病気です。
周南市では **4人30人** ががんで亡くなっています。

がん検診の種類と対象

	肺がん	大腸がん	前立腺がん	胃がん	乳がん	子宮頸がん
対象者	40歳以上	50歳以上	50歳以上	40歳以上	40歳以上	20歳以上
受診間隔	年1回			2年に1回		

けんしんのお知らせはこちら ▶▶▶



がん検診を受けずにいると...

- ① **費用**がかかる
がんの治療には、高額な治療費がかかります。働く世代の方が長期に入院すれば、収入がなくなる可能性もあります。
- ② **時間**がかかる
がんになってしまったら、何度も医療機関へ通院する時間を作らなければなりません。
- ③ **体**に負担がかかる
がんの細胞は周辺の正常な細胞の栄養を奪って増殖し、身体状態も悪くなっていきます。さらに、がんが進行してしまうと、体に負担がかかる治療法が必要になるかもしれません。

がん検診は・・・
市の助成により、数百円～数千円で受診することができます。

がん検診は・・・
「1～2年に1回」受ければ早期発見に有効であるとされています。

がん検診は・・・
「症状がない健康な人」が対象で、検診では「早期の段階」で見つかりやすいです。

周南市 涼みの駅



熱中症予防を目的に、市内の薬局や郵便局等のご協力のもと、外出中の人々がひと涼みに気軽に利用できる場として「涼みの駅」を開設しています。目印としてポスターやのぼり旗を設置していますので、気軽にお立ち寄りください。

熱中症予防のポイント

暑さを避ける

- ・ 扇風機やエアコンで温度をこまめに調節
- ・ 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ・ 外出時には日傘や帽子を着用
- ・ 天気のよい日は日陰の利用、こまめな休憩
- ・ 吸湿性、速乾性のある通気性のよい衣服の着用
- ・ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで身体を冷やす



こまめに水分を補給する

のどの渴きを感じていなくてもこまめに水分、塩分などを補給する

特に高齢者やお子様は熱中症になりやすいので十分に注意しましょう

周南市涼みの駅の取組が、熱中症予防声かけプロジェクト「ひと涼みアワード2023」ひと涼みスポット部門で最優秀賞を初受賞！

「熱中症予防声かけプロジェクト」は、熱中症予防の声かけの輪を広げていこうとする官民一体の取り組みです。周南市は徳山薬剤師会・健康づくり推進協議会など関係機関と連携し、気軽に誰でも涼むことのできる施設「涼みの駅」の登録を進めています。この度周南市の取り組みが高く評価され、「ひと涼みスポット部門 最優秀賞」を受賞しました。



【問合せ】周南市健康づくり推進課 0834-22-8553